

令和5年1月30日
参考資料

第7回神奈川県・米陸海軍意見交換会の結果について

本日、県庁において、神奈川県知事と在日米陸海軍司令官との間で、お互いの協力関係や諸課題についての意見交換会が開催されましたのでお知らせします。

1 出席者

神奈川県知事	黒岩 祐治
在日米陸軍司令官	ジョエル・B・ヴァウル 少将
在日米海軍司令官	カール・A・ラティ 少将

2 意見交換の概要

次のとおり意見交換を実施した。

○ 地元自治体との連携の重要性について

- ・ 県から、在日米陸海軍との強固な信頼関係の構築のため、定期的な意見交換会の再開について提案し、米陸海軍の同意を得た。
- ・ 米軍と地元自治体・地域住民との交流・連携の重要性について一致し、引き続き連携の取組を進めていくこととした。

○ 災害時の相互協力の促進について

- ・ 県から、総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」への米軍の参加について、謝意を表すとともに、災害時の協力関係について、今後も継続して連携していくことで一致した。
- ・ 米陸軍より、災害時に日米間で通信に使用する「災害時の相互応援マニュアル」（通称「ブルーブック」）の見直しについて提案があり、事務レベルで検討を始めることで一致した。
- ・ 人道支援・災害救助に係る演習の必要性について一致した。

○ 新型コロナウイルス感染症への対応について

- ・ 新型コロナウイルス感染症への日米双方の対応を振り返り、県から米軍の感染症対策の取組について謝意を示すとともに、今後も感染症対策を継続することについて一致した。

○ その他

- ・ 厳しさを増す安全保障環境に対応するための日米同盟強化の必要性を相互に確認したうえで、米陸軍は、県が横浜ノース・ドックにおける小型揚陸艇部隊の新編について、適時適切な情報の共有を引き続き望んでいることについて、理解を示した。

- ・ 米海軍基地におけるP F O S等の流出があったことを踏まえ、神奈川県と米海軍は引き続き、P F O S等の基地の環境問題に関して、日米間で連携していくことについて一致した。
- ・ 人道支援・災害救助訓練や災害等の非常時における、防衛省・自衛隊、海上保安庁等、関係機関との連携強化の重要性について一致した。

問合せ先

神奈川県政策局基地対策部基地対策課

課長 館野 電話 045-210-3370

課長代理 小泉 電話 045-210-3375